第３号議案　２０２０年度事業計画（案）

特定非営利活動法人くろとり山荘

Ⅰ．事業の実施方針

新型コロナウイルスの感染防止対策と利用者から介護難民を出さないように努める年となった。新型コロナ対策では、これまで通り手指消毒の強化、換気回数増加、環境整備消毒などに努めるとともに、利用者・ご家族には緊急事態宣言に伴う大阪府からのデイサービス利用自粛要請の意向確認をおこなっていく。感染防止にはデイサービスを極力控えることが望ましいものの、重度・医療度の高い利用者を抱える当デイサービスでは、自宅での介護は入浴、排泄管理等で困難をきたすことから、これまで通り利用される方が多い。当デイサービスで感染者を出さない為に利用者の来所前、来所持、昼食１時間後の体温測定、スタッフの出勤前の体温測定も行い記録していく。利用者、家族、スタッフに発熱がある場合も利用、出勤を控えていき感染予防につなげていきたい。

デイサービス休業要請が出た場合は、介護難民を出さないように極力努め、デイサービス利用人数の制限も行いながら営業を行い、訪問介護・看護の検討もしていきたい。こうした努力の反面、４月からの利用者数減少も予想され、また、秋冬には第２波、第３波の新型コロナ感染流行も予想されており、収益も大幅に減収する恐れがある。感染防止対策をこれまで通り行っていくと共に、感染対策備品の欠品を出さない様にマスクや消毒剤等の備蓄も行っていく。人員配置もスタッフの協力を得ながら利用者数に見合った人員配置数にしていくなど経営努力も行っていきたい。

これからも、ご利用者、ご家族の声に耳を傾け、寄り添っていく介護・看護を追求していく。具体的には、「地域密着型通所介護運営推進会議」などを活用して利用者・家族、地域住民の方々の意見を伺い、よりよいデイサービス運営を進めていく。多様なボランティアにも協力をいただきながらくろとり山荘の介護・看護を担っていくと同時に、くろとり山荘の日常業務・姿勢をチェックしていただく。

デイサービス管理者は４月より新たな管理者に代わり、前管理者は看護師長兼相談員としての業務に携わる。新たに２名を看護主任、介護主任として昇格させ、士長(師長)主任会議を随時開催するなどしてデイサービスの組織強化、運営強化をはかり、よりきめ細かな介護・看護をめざしていく。また、スタッフの健康管理も徐々に改善を図っていくなど福利厚生にも力を入れ、今年度は腰痛対策及び業務軽減もはかっていくため新たな移乗リフト購入の検討も行っていく。

訪問看護ステーションは４月３０日をもって廃止し、４月分の介護・医療請求とともに未収金の回収を行っていく。これと共にこれまでの残金と合わせて借入金返済、経費支払いの残務整理も行っていく。看護ソフトの５年リースの支払いや長期借入金の返済もあり、光熱費などはできるだけ早く中止したり、デイサービスやＮＰＯ法人での買い取りなども検討し、本年度中に訪問看護会計の清算を行っていきたい。

ＮＰＯ法人の目的である「どのような方でも安心して住み慣れた街で暮らすことができるように」していくため、デイサービススタッフの協力も得て、盆踊りなどの町会の催しや清掃活動などにもできるだけ参加を心がけ、日常的に地域との信頼関係を築いて行く。寄付していただいた竹林・駐車場は事業に支障のない範囲で開放し、地域の方々にも癒しの場などとして活用していただく。

ＮＰＯ法人も副理事長を２名体制に復活させ、１名に事務局長を担っていただき、できる限り任務分担をはかりながら、よりユニークで利用者、地域の方の要望に応えていけるような組織に強化、発展させていきたい。また、ＮＰＯ活動も１０年以上経過していることから、これまでの理念・目的も重視しながらも、これからの活動に沿った理念見直しも行っていきたい。

賛助会員が減少している中、ＮＰＯくろとり山荘正会員に会員増を協力も訴えながら１００名の賛助会員が維持できるように努めていく。会報「山荘だより」は、これまで通り年４回の発行を行い山荘町６００世帯の回覧をはじめ４００部配布を継続していく。デイサービスの身近な話題ばかりでなく、来年度の介護・医療同時改定など介護をめぐる動向や医療・福祉の課題も掲載していきたい。また、介護や看護の役立つ知識・技術なども掲載して楽しみにしていただけるような紙面作りをめざしていく。ホームページやブログは更新も心掛けみんなが楽しんで役に立つような内容をめざしていく。

Ⅱ．デイサービス事業

１．職員の確保

　　今年度は管理者兼相談員を採用することができ、新たなデイサービス指導体制構築をめざしていきたい。看護師退職に伴う補充だけでなく、機能訓練指導員の充実・補強していくために看護師、理学療法士、作業療法士を重視して募集していく。また、在職中の職員の健康管理等の福利厚生向上にも努め、より楽しく働きがいのある職場づくりをめざしていきたい。

２．経営改善に向けて

　　新型コロナウイスにより、４月、５月の経営状況はかなり悪化することが予測される。現在休まれている利用者の早期復帰への対策や新規利用者の確保に向けて安全性をＰＲし、ケアマネや家族との連絡等を行っていく。また、第２波、３波の新型コロナ対策として、感染対策の継続と共に必要備品の備え、介護難民を出さないための方策も考えていく。

３．災害対策

　　地震や火災に対する避難訓練を例年通り消防署への依頼も行いながら、年２回実施する。また

新型コロナウイルス対策を継続して利用者や職員の健康管理を行っていく。

４．ボランティアや学生の受け入れの再開

　　現在休止中のボランティアを早期に受け入れていきたいと考えているが、感染問題も残ってい

るので、ボランティアにも手洗い、うがいの励行をお願いするなどして、感染防止対策を徹底して

いく必要がある。研修生の受け入れは、今年は中止になる可能性が高い。もし受けいれるとすれ

ば、ボランティアと同様の対応をお願いする。

５．事故防止と対策の徹底

　　些細な事でも隠さないという職場の風潮を維持し、積極的にインシデント、アクシデント報告書及び苦情報告書を書く。それを責めることなく、みんなで対策を考えそれを守る職場づくりを継続する。